

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域支援センターまなびや 児童発達支援事業所あのね				公表日	令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		多目的広場はのびのびと走ったり、体操できる十分な広さがあり、遊ぶ場所、活動する場所、お昼ご飯を食べる場所、個室等スペースは確保されている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員3名・非常勤3名を配置している。毎日10名以内の利用であるので適切である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー構造になっており、子ども達にもわかりやすい説明ができるよう大きなプロジェクターを利用し情報伝達したり環境上の配慮をしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間は広く、トイレも使いやすい状態になっており活動に合わせた空間になっている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもたちが個別の部屋を利用し、学習や集中しなければならない場面、お話の時間等を設けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員と目標設定と振り返りに会議で発表したり、業務改善に都度努めている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議で議題にしながらその内容を職員に伝え、改善できるようにしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議で職員からの意見やその他保育園や小学校などの意見も含め総合的に業務改善できるようにしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		法人全体で第三者評価を受けており、改善等があればつなげている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での研修等に参加したり、ZOOMを利用した研修等、幅広く研修には参加している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページに公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントは子ども園の先生方、保護者様からの課題やニーズを整理して計画作成を行っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成の際は、子ども園、相談員、保護者様等からの意見をまとめ、ケース会議等を行いながら検討されている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画案等は、職員はパソコン内のシステムで共有できると同時に会議等で支援計画の話し合いを行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの適応行動の状況等はアセスメント等を使用することにより確認したり会議などで話し合いを行っている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画書には5つの支援内容も踏まえより具体的な内容で設定し、なお、家族支援ではご家族みんなの支援で何ができるのか家族を含めて話し合いを持って共有しながら計画を立てている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		非常勤等も含め全職員で会議の中で行事などの案を話し合い、全員で活動内容を決めている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日、利用児童が変わる為固定化しないようにバランスや子どもの状況で変化させながらマンネリ化しないように工夫している		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前に打ち合わせを行い、その日の分担等を確認し連携しながら支援を行っている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		終了後には必ず職員間で反省会（振り返り）を行い、その場で気づいたことや、声かけ、支援方法等を共有している		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の支援は記録をとり、保護者にも公開しながら意見をもらい、検証や改善があればその都度話し合いのテーマとしている		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングの他に、子ども園の先生方と情報共有を行っている為、必要性があれば適宜見直しを行っている		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には必状況が説明でき、理解した職員が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療・保健等関係機関と連携し積極的に会議にも参加しながら情報共有を行いながら支援を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		子ども園等で必ずケース会議や担当者会議を行い、支援内容等の情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前の児童に関しては特に情報提供や共有が必須であり、関係機関を含めてケース会議等を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			—	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			—	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			—	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		まだ連携ということまではないが、今後どのように連携を図っていけばよいのか検討課題である	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣の施設や保育園との交流はあるが、今後は行事として地域交流をはかっていきたい	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の記録や日誌で保護者には公開しながらコメントを頂きながら共通理解を深めている	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング等に関しては今後家族等への参加ができるような日程を調整しながら研修ができるよう検討していきたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		担当者会議等で保護者に運営方針や規定支援プログラム等説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成する際は、子ども園等でケース会議を設けたり、様々な意見を取り入れながら家族の意向を確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容は保護者からも携帯電話で確認もできるが説明しながら同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの相談には適宜対応できるようにしており電話やメール等でも助言等も行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や交流会などの場を提供しながら行事への積極的な促し等も行っている	保護者への促し等を行っているが時間や日程が合わない家庭も多い為参加数は少ないが継続した情報提供は行っていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談等はいつでも電話できるよう連絡先を伝えており、すぐに対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的な活動報告書等を配布したり、インターネットやSNS等で活動を報告し発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては事前に保護者から同意を得ている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報伝達の為にお手紙を書いたり、メール等で上表をお知らせしたり視覚的伝達の配慮をしている	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事に関しては運動会など地域住民等に声をかけながら町内会、子ども会等と交流できるように積極的に地域と共に活動している	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルに沿った訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害に備え避難訓練や必要に応じて訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬や注射等は事前に保護者からの情報を共有しており、服薬依頼等も確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギー等も保護者から事前に聞いて対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の中で訓練、研修等を実施しながら安全管理をしながら支援を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		子どもの安全確保については、緊急連絡先等も含め事前に保護者との連携を図っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書や事故処理簿等を作成し再発防止のための会議を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待研修等を適宜職員には研修してもらい対応している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関してはしてはならない事が原則。万が一発生するような場合は保護者に連絡をし保護者に迎えてきていただくようにしている	